

則だと考えてございます。

○五十嵐智洋委員長 4番、内谷邦彦委員。

○4番 内谷邦彦委員 一般質問でも話をさせていただいたんですけども、今回その公共施設整備で財政的には厳しくなるだろうというふうに私は考えてますので、そのコスト削減や日常経費削減に関して、どのような考え方で考えていらっしゃるのか。あと、予算があっても節が変わるだろうが何しようが、それにかかわる費用というのは全部わかるわけですから、要するに事前に予算化しようとしたときに、大体基本設計幾ら、実施設計幾らって、建物に関して大きさがこのぐらいで、その費用は幾らって、大体概略は全部出るはずですから、その中で管理していくつつならまだわかるんですけど、何かそういった管理の仕方をしていらっしゃるようには私はイメージとして受けますので、その辺の考え方については、もう一度そのコスト削減と日常経費削減についてだけはちょっとお答えをいただけますか。

○五十嵐智洋委員長 横山賢一教育参事。

○横山賢一教育参事 委員のおっしゃられるように、コストの部分につきましてはこれから入札というようなことで入ろうかなとは思いますが、当然予定価格等々、入るわけで、入札に入れば請け差額とかというようなのが出るわけですので、そうしたものは当然使わないで残すというのが行政としては普通前提でありますので、そうした部分も含めて余計なものは設置しないというふうなことでは、一つはあるのかなと。

あと、ランニングコストの部分につきましては、どうしても温度の管理であったりというようなところ、あとために電気を消すとかっていうようなところの指導等々がこちらのほうでも十分考えながら、またお子さんのほうに指導していくというようなことになろうかなというふうに考えているところでございます。

○五十嵐智洋委員長 4番、内谷邦彦委員。

○4番 内谷邦彦委員 今後その公共施設整備で大型事業が始まりますと、関係者においてはその予算執行に際して常にコスト意識を持っていただきたいと。億という単位の金額になると、どうしても感覚的に狂ってくる可能性がありますので、市民からお預かりしているお金を使うという意識を持って、無駄な費用を発生しないように、また完了後のランニングコストを常に考えながら進めていただきたいと思います。

以上で質疑を終わります。ありがとうございました。

### 鈴木富美子委員の総括質疑

○五十嵐智洋委員長 次に、順位3番、議席番号6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 長井創生の鈴木富美子です。よろしくお願ひします。通告書に従いまして、順次質疑をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

昨年6月、フラワー都市交流の総会が長井市で行われました。全国9市町の市民交流団も含め、約300人のお客様がおいでになりました。長井市の各方面からボランティアによるおもてなしをされた市民の皆様、大変ありがとうございました。お疲れさまでした。長井のおもてなしの心がおいでになった皆様に届いたことと思います。

また、企画されました市職員の皆様におかれましても、桜、つつじ、あやめと花観光と同時進行で大変だったことでしょうか。お疲れさまでした。私は岐阜県の大野町の担当をさせていただきました。ことは下田市での開催となるため、下田市の皆様は長井のおもてなしの心に感心され、いろいろ参考にされて帰られたと思います。水と緑と花のながいにふさわしい町並み

が1年を通じて感じられることを願い、質問をさせていただきます。

平成30年度の予算の中の7款商工費、3目観光費、006の花観光推進事業309万7,000円について、お伺いいたします。産業・建設常任委員会協議会においてお伺いしましたが、確認の意味でもう一度お伺いいたします。

最初に、報償費として82万円を計上なされていて、そのうち講師謝礼として2人分、64万円を計上なされています。どのような方を講師に予定しているのか、商工観光課長にお伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 お答え申し上げます。

平成23年度からガーデニングの講習会の講師をしていただいておりますNHK趣味の園芸で有名な玉崎弘志先生、そして玉崎先生の助手でいらっしゃいます勝山ミツ子先生を予定させていただきます。なお、玉崎先生には平成23年度からで、勝山先生には平成26年度からお世話になっているところでございます。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 ガーデニング講習会は、ことしも去年のようなイメージで講習をなさるのか、来年度はまちなかを飾るような講習なのか、また実施する場所、内容など、どんな計画をなさっているのでしょうか、商工観光課長にお伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 お答えいたします。

昨年までは長井駅や時庭駅、羽前成田駅や、ただいまお話がございましたあやめ公園東口のフラワーガーデンなど、花壇整備もあわせての実施でございました。新年度からはこれまで取り組んできた花壇の維持管理、それから日ごろの花をめでながらの管理ということで、一巡したことによりまして、この維持管理のほうを中心にテーマを設定して取り組んでまいりたいと

いうふうに考えております。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 講習に当たりまして、受講する皆さんの人員確保ですが、毎年何かご苦勞をなされてるような感じがするんですが、ことしはどんな手だてをを考えておられますか。そして、あわせて昨年ご案内をなされた団体と、参加者数などの実績を商工観光課長にお伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 参加団体名について、初めに申し上げます。時庭駅協力会さん、長井駅、南長井駅、あやめ公園駅の各協力会さん、最上川フットパス花の長井さん、長井商工会議所女性会の皆さん、以上に加えまして、個人参加として10数名で、合計30名の方にご参加をいただきました。

新年度につきましては、これらこれまでご参加いただきました皆様に直接ご案内をさしあげるほか、今回この日曜日、花のこちらの報告会を開催して、勝山先生からもご指導いただきましたが、私どもも、そして参加者の皆様も含めて、SNSなどを使って積極的に情報発信するよというご指導を得ましたので、SNSを中心にした参加も呼びかけてまいりたいと考えております。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 私も参加させていただいてるんですが、すごく同じメンバーで、何か若い人が少ないような感じがします。どうしてもガーデニングというといじいちゃん、ばあちゃんのイメージがあるのかなと思いますけど、やはりこれぐらい一生懸命花を、先生を呼んでしているんで、もうちょっと今、課長がおっしゃられたように、ちょっとショートメールでも、済みません、SNSを使ったりして、そしてふやす、団体とか皆様に広告するような手だてを考えるべきと思いますが、同じ団体に毎回出す

ような感じがいたしておりますので、その辺ちょっともう一度考え直しては、考えていることはありますか。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 委員ご指摘の同じメンバーが中心ではないかというようなことが、実は先ほどもお話を申し上げました、この日曜日に開催したおらんだの花いっぱい報告会でのアンケートなどでも、やはり同じメンバーが中心ではないかとか、あと参加者の高齢化などをご指摘いただく点が非常に目立っておりまして、こういったことから委員からもございますように、もっと若い人に参加していただけるように、みずからが栽培して育んだ花をフェイスブックとかインスタグラムなどを通じて、やはり情報発信をぜひしたほうが良いというご指導でございましたので、まずこちらに力を入れて取り組んでまいりたいというふうに考えています。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 去年はフラワー都市交流があったということで、ちょっと違った講習会のような気がいたしました。ちょっと1日ばかりで石づくりの庭からでしたけども、そういった内容は特別だと思いますけど、ことしは先ほどとかぶると思いますが、もうちょっと時間を短くしたり、前にやっていた長井駅前にもみんなで飾ったり、そういうような継続的なことが必要だと思うんですけども、そういったことはいかがでしょうか。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 ただいま答弁させていただきましたけども、若い人の参加というものを今後、考える上では、やはり委員からありましたように、もっと参加しやすいような時間設定というのにも必要というふうに私どもも考えております。委員がおっしゃいますように、短い時間であっても参加しやすいような開催方法などについて検討してまいりたいと思います。こ

れまでは先ほどもお答えさせていただきましたけども、花壇そのものも整備するというようなことも含めた取り組みでございましたので、必然的に時間が長くなってきた経過がございました。今後はそういったことを若い人が参加できることを中心に考えてまいりたいと存じます。ありがとうございます。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 ぜひ皆さんがもっと花に親しみやすいような、有効な講習会であってほしいなと思いますので、ぜひよろしくお願ひします。

原材料というのが出ておりますが、これは花の代金だと思いますが、この花は地元からのみ求めているのでしょうか。それともほかにあるのでしょうか。商工観光課長にお伺ひいたします。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 お答え申し上げます。

市内の花弁生産組合より花を納入していただくことを基本としております。昨年度のようにフラワー都市の総会があるというような特殊なときは、加盟都市から実際、花の球根を購入させていただいたりということはございますが、あくまでも地元からの購入というのを基本としております。以上です。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 それでは、ことしは地元の花代ということで確認してもよろしいでしょうか。課長、どうですか。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 そのように考えてまいりたいと思います。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 去年は別として、その前までは成田駅で、時庭駅、長井駅となされたわけですが、その前々のときは長井駅周辺、長井駅からの栄町道路にお話を植えたと思うんですけども、フラワー長井線でおられる皆さん

の目を楽しませることも大事なことだと思いますので、この花観光事業は一時的なイベントではなく、無理なく花を植えられる工夫も必要かと思えます。駅前は今から大きく変わるので、この事業は大切な事業だと思います。講習会を単にすればいいのか、生かしていくのか、市長はどのようにお考えになりますか。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 答えたいします。

今、鈴木委員からいろいろご提言いただきましたけれども、玉崎先生の講習会というのは断片的にしかやってないんですね。もう5年、ことし6年目だと思いますが、最初はタスなどを利用して室内でまず話をした後、実際花を使って、最初の年は具体的に初心者の方も含めて、何かデザインしてつくったりしたはずですよ。そういうのを2年ぐらい続いた後、時庭駅と成田駅については、あれは英国王立ガーデニング協会の事業で、あるいは合宿で長井に来ていただいて、遠い方、九州から来た方もいらっしゃいますので、その方たちがやった事業なんですよ。

それと、あとたしかその2年目のときはコンテナガーデンみたいなので、ちょっと維持管理が大変だということで、工科短大の学生さんからつくっていただいた、玉崎先生から教えていただいた、ただそれが続かなかったんですよ。あれをもうちょっとつくってふやしていくんだということで予算もとってたはずなんですけど、結局、尻切れになってしまった。いつの間にか全部なくなりましたね、あれ私、不思議でしようがないんですけども、お金をかけてつくったのがなくなって、どうしてるのかなと思ってんですけども、それと、去年はフラワー都市交流のためにあそこのあやめ公園の中にガーデンをつくるということで、それが講習会になってしまったということで、反省としては、玉崎先生の話っていうのは、もう中級から上級向け

なんですよね。勝山先生もやっぱりお弟子さんなものですから、非常にレベルが高いと。やっぱり反省としては、初心者向け、やってみたいという人はいっぱいいるんですけども、そういった方々の講習ができなかったと。

実はもう5年前からずっと地域おこし協力隊で、平成26年から募集してるんですね、ガーデニングを教えてくれる方と。1人じゃなくて複数で欲しいと。結局そういった方々に、先生というのはなかなか来てもらえませんし、あと地元で教えられる人もいらっしゃるんだと思いますが、なかなかボランティアで教えてくれるっていう方はそうはいらっしゃいませんので、そういった方々にもいろいろお力添えいただきながら、初心者から本当にやってみたい、関心のある方に定期的に教えていただく講座、あとは水と緑と花のまちとは言うんですが、確かに我々、住んでると、水がいっぱいあって、緑もあふれてて、花もあるんだとわかるんですが、外から来た人は何だと。花ってどこにあるんだとよく言われます。あやめとかつつじはあるんですが、季節だけで、桜も、ですから我々は1年住んでるからわかるんであって、したがって、ガーデニングというのを進めていきたいというふうに私は思ってますね。

昔、花いっぱい運動ってやってて、あれは一年生の花をフラワーポットを提供して、それぞれの地域で飾っていただくのと、道路沿いのちょっとしたミニスポットの公園とか、そういったところにやっていただいたんですが、一年生ですと、なかなかもう1カ月とか2カ月ぐらいですかね、そういうのが多いので、あとはちょっとその地区でやっていただく花いっぱい運動は花いっぱい運動でよくて、今はそれを引き継いでやっていただいていますけども、もう一つやりたかったのは、長井商工会議所の女性会でなさっているようなガーデニングなんですよ。ガーデニングと、いわゆる花壇と違ってなかなか

か言いにくいんですけども、ガーデニングの場合は宿根草といいますか、多年性の草花、それから一年生の草花、それと樹木の組み合わせでやるものなんです。

したがって、毎年毎年じゃなくて、手をかければかけるほどよくなる。それを市民の皆様に分庭とか、あるいは公的スペースはいろいろな方々にお手伝いいただきながらつくってもらいたい。そういうのを長井市内でどンドンふやしていくと。できれば最後はあやめを希望者には全員苗を配って、毎年配って、あやめを植えてもらいたい。あとつつじも希望者にはぜひ植えてもらいたい、桜も植えてもらいたい、こう思ってるわけですが、それを進めるのが私ども商工観光課だけでは到底できませんので、それが課題だと思ってます。

したがって、委員からいただいたガーデニングの楽しさを市民に伝えるべきでないかというのはそのとおり、あっ、ごめんなさい、ガーデニング講習会をどう捉えているかっていうことですかね。そういったところはぜひもう少しバリエーションで、関心のある方が初心者、あるいはやってみたいという方たちが満足して、それを続けられるような、そういう体制もとっていくように、ちょっと当初では間に合わなかったんですが、ぜひこれから進めていきたいと思えます。長くなって済みません。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 市長、ありがとうございます。私も、玉崎先生、勝山先生、すばらしい先生で、すごく勉強になりますけど、やはりずっと入り込むっていうのは難しいところもあるなと思います。でも、地元の方もガーデニングなされて、ご指導なされる方もいらっしゃいますので、ぜひ発掘していただいて、いつでもこういうときどうするっていうふうに関きに行けるような対策をとれば、もっともっと花を植える方はふえるんじゃないかなと思います。や

はりバイパスなんかも、せっかくお客様おいでになっても、樹木の下に草がぼうぼうだったりすると、やはり何かお迎えするにもちょっと心苦しいかなと思ってもいるので、その辺、地元の方とかみんなに協力していただいてやっていく方法もあるのではないかと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思えます。

先ほど、花の観光で、花があればいいなと思ってるということでしたけども、道の駅にもやはり花がもうちょっと必要でないかなと私は考へてるんですが、市長はどういうふうにお願ひしていらっしやいますでしょうか。お願ひいたします。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 鈴木委員おっしゃるとおり、花壇をつくるスペースっていうのはあんまりないので、コンテナガーデンっていうのはいいですかね、それも興ざめする白いフラワーポットに植えるんじゃないくて、あれ本当嫌ですね。私、嫌なんです。自宅ではしょうがないと思ってるんですが、公共の場は、玉崎先生に当初提案いただいたような形で、管理もしやすく、できるものをぜひいろんなところに置いて、あとは、ガーデン的なものはぜひ河川敷のほうにやっていきたいなと思ってます。河川敷の舟通し水路ってあるんですけどね。要は、宮の船着き場の跡地のところ周辺に梅を植えていらっしやる方、いらっしやいますよね。ですから、ああいったところと一体となって楽しんでもらえるような、散歩しながらもう花を楽しむと。どっちかっていうと、花壇だと、ぱっと見て終わりなんですけど、いわゆるイングリッシュガーデンとか、いろんなガーデンっていうのは散歩しながら見るんですよ。そういうのが長井にはないので、あとは、個人のお宅はガーデニングなされて、すごい立派な、ぜひ行ってみたいところありますよね。ああいったところなんかも、散歩しながら、そういうお宅に回って楽しめるというのが

いいんだろうなと思ってますんで、道の駅のほうもそんな考え方で、まずは施設の周りとか、あとは、花壇としては河川敷なんか使っていくといいのかなと思ってます。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 8番目の質疑は、何か今と同じようになってしまいますので、割愛させていただきますが、やはり花のまち長井ってうたってる以上は、やはり花が少ないと私はすごく思います。商工会議所女性部のほうで、ガーデニングマップを市のほうに40周年として、ことし、寄贈させていただきましたが、やはり市内にはあっちこっちガーデニングを楽しんでいらっしやあって、オープンガーデンしてる方がいらっしやいますので、その辺も含めて、やはりみんなでやっていかなければいけないと思います。

この花観光推進事業でせつかく予算とってるので、これに関しては、本当若い人も入り込めるような、少しでも多くの方に花を提供して、少しでも、宿根草が私もいいと思いますけども、その辺、植えたら植えっぱなしでないことを含めて、もう一度皆さんにアピールできるような施策をしてほしいと思いますけども、市長、もう一度お伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 鈴木富美子委員がおっしゃるように、これ本当すごいんですね。大体議員の方もご存じだと思うんですが、ここまではいかないとしても、やはり今回、花いっぱい運動ってということで予算とって、その中身についても大体全部計画があるわけでございますけれども、これ1年間、秋までっていうふうに考えますと、状況によっては補正をまたお願いして、そんなに何百万円、何千万円かかる事業ではありませんので、あとは、地元の方々に、地域おこし協力隊のガーデンなんてなかなか難しいとしたら、やはり講師をお願いできる方に謝礼などもお願

いしながら、定期的に講習会開催して、初心者とか、やってみたいという方を募りながら、少しずつ花の輪を広げていくような、そんな取り組みも、新年度に入ってからになりますけれども、ぜひ検討してまいりたいと思います。ありがとうございました。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 ぜひ実施していただきまして、よろしくお願ひしたいと思います。私たちもできるだけ協力したいと思います。

続きまして、第2項目に入らせていただきます。

オリンピック・パラリンピックホストタウンに向けて、置賜生涯学習プラザや同運動公園の施設の改修をどのように考えているのか、お聞きしたいと思います。

置賜生涯学習プラザは平成元年建設で、築30年となります。ことしの冬は特に寒さが厳しかったのか、学習棟の天井が結露により、下に落ちた滴が凍り、滑りやすく、プールを利用している子供たちに危険が及びました。生涯学習プラザの職員の方は危険を知らせる表示をすぐなさり、事故等はなかったようですが、2020年のオリンピック・パラリンピックホストタウンに向けて、プラザの改修工事が必要になるのではないかとということでお伺いしたいと思います。

初めに、10款教育費、4項社会教育費、7目置賜生涯学習プラザ費4,231万7,000円と、10款5項保健体育費、2目体育施設費3,012万円についてお伺いいたします。

初めに、置賜生涯学習プラザ費の15節に工事請負費31万9,000円は、プール採暖室暖房設備と説明されていますが、どのような工事なのか、生涯スポーツ課長にお伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長 沼澤孝典生涯スポーツ課長。

○沼澤孝典生涯スポーツ課長 お答えいたします。

採暖室につきましては、プールの利用者の方が休憩中などに暖をとるために設置してある部

屋でございます。プールのちょうど北西の角にある部屋でございます。中には暖房機が合計で5台設置してありますけれども、大分さびておりまして、そのさびがぼろぼろ落ちてくるような状況でございましたので、衛生上好ましくないとというふうなことで、30年度については2台交換するものでございます。

なお、残りの3台については、そのまた次の年度以降、順次更新をしていく予定でございます。以上です。よろしくお願ひします。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 生涯学習プラザ内において、そのほかにシャワーが使えないことや、大研修室のエアコンの温度調整が難しいと、いろいろお話を聞いておりますが、ほかに改修が必要と思われる場所はどれぐらいあるのでしょうか。生涯スポーツ課長にお伺ひいたします。

○五十嵐智洋委員長 沼澤孝典生涯スポーツ課長。

○沼澤孝典生涯スポーツ課長 お答えいたします。

特にオリパラに向けてというふうな点につきましては気持ちよくお迎えをしなければならないというふうに思いますので、今の玄関付近ですね、タイルが随分欠けております。美観を保つための工事というふうなことでは、できるだけ早く実施してまいりたいというふうに思います。

また、外国選手をお迎えする場合がございますけれども、シャワーをよくご利用なされるわけですが、現在、体育館のシャワーが壊れている状況でございますので、それについても早急に対応したいというふうに考えているところでございます。

また、施設の長寿命化というふうなことでは、屋根の雨漏りが学習棟、体育館それぞれございまして、それに伴いまして、天井のボード等の交換なども必要でないかというふうに思います。

また、大研修室の冷暖房、オンオフしかできない状況でございますので、これもできれば改

修をしてまいりたいというふうに思います。

また、体育館については、床のフローリング、これが25年をめぐりに削り取りなどのメンテナンスをしなければならないというふうにされておりますので、そこにつきましても順次計画をしてまいりたいというふうに思います。

また、屋内プールですけれども、1つには、ろ過器でございますけれども、これも20年ほど経過をしております、更新時期になっていきますので、できるだけ早急に対応してまいりたいというふうに考えているところです。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 お聞きしますと、大分、ほとんど改修っていうか、ほとんど何か施設の修理が必要なところが多いようですが、オリンピックまで間に合うような施策はとれるのでしょうか。課長、どうですか。

○五十嵐智洋委員長 沼澤孝典生涯スポーツ課長。

○沼澤孝典生涯スポーツ課長 お答えいたします。

最低限、事前に合宿等々ですね、する際に支障のない程度には応急的な措置は必要かと思っておりますけれども、ただ、大分費用がかさむものもございまして、その辺については計画的に改修の予定なども立てまして、また、財源の想定なども十分にした上で、きちんと計画してまいりたいというふうに考えてるところです。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 そうですね、財源がちょっと一番問題だと思いますので、計画しながら、ぜひ上手にやっていただければと思いますので、課長の努力大変でしょうけど、よろしくお願ひします。

続きまして、12月の定例会におきまして、長井市のマラソン大会にタンザニアの選手を招待してはどうかという質問をさせていただいたときに、市長の回答は、タンザニアから選手、そして、国内の選手も招待し、サブのマラソン大会ができるくらいの位置づけで3年間できたら

との回答でした。マラソン大会は生涯学習プラザがメイン会場となるわけですから、今、施設の整備の話が出ましたが、市長はどのようにお考えでしょうか。お聞きいたします。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 生涯スポーツ課長がお答え申し上げましたけれども、かなりの箇所がいろいろ老朽化して、直さなきゃいけないところが多々あるというふうに思ってます。4年前の平成26年に市制60周年ということで、大相撲の巡業を民間の方たちが招致されてるときに学習プラザを使うということで、そのときにいろいろきっかけとして、いいチャンスだからということで改修をお願いしたんですけども、どうもやっぱり生涯スポーツ課ですから、そういう施設整備とか工事の発注とかっていうのは、今考えますと、なかなかうまくいかなかったのかなと。出してくる中身は大体どこかの会社の見積もりばかりで、それだったら、もう当初から地元の設計士さんでもいいので、ちょっとその予算要求をして、全体どうするかって見てもらったほうがいいんですけども、やっぱりそういうことの発想がなかなかない。あとは、単独事業でなく、何かないかと。そのときはしようがなかったんですけども、たしか4年前はトイレを洋式化にしました。ただ、七、八千万円たしかかかったはずなんですけど、実際のところは、あれ、こんなにかけて何でこれしかなんなかったのかなって、私の理解不足ですけども、あとは、シャワーもできないかっていうことだったんですけど、シャワー、お金かかってだめだからということで、しなかったんですよ。

ご質問のオリパラの関係もあって、長井マラソンをタンザニアの選手を、あと、ことしから3年続けてやる可能性もあるわけですね、大きい大会として。そのときに、先ほど課長のほうからもありましたけども、やっぱりシャワー必須だと思っておりますんで、そこで今、検討を

ちょっとお願いしてるのは、東京オリンピック・パラリンピックをホストタウン受けたことによって、それら、その国々の選手の皆さんが、事前合宿までは難しいかもしれませんが、最終的に国内で調整をして、オリンピックやパラリンピック、あるいは国内の大会に出るといふときに、施設整備を、補助対象になるはずなんです。だから、その基準を調べて、できるだけ活用できるものは、したほうがいいんじゃないかという話をしています。

あとは、学習プラザとタスは30年たってますんで、タスについては、場合によっては補助事業を使えるんですね、使えるんです、状況によりますけどね。けども、学習プラザは全くめどが立たないんです。総合運動公園つくったときは、土地を土地開発公社から4億円で買わなきゃいけなかったんですけども、結局、あのまま整地して終わりだったんですよ。3億円で買ってか、1億円で整地してという計画だったんですけども、これちょっともったいないんじゃないかと、4億円もお金をかけて。しかも、これは借り入れできなかったんですよ、たしかね。ですから、非常に厳しかったんですけども、それを防災機能つき都市公園といういい補助事業を見つけられて、若干4億円よりは、もちろんかかりましたけども、あの事業ができた。そういったことで何かできないかと。やっぱりかなり老朽化してると思ってます。実際、大規模改修としては、文化会館の次にしなきゃいけないぐらいだと思います。タスの場合は、ホテルの部分が私ども市に関連していませんので、なかなか向こうと一緒にできないんですけども、学習プラザの場合は市の施設でありますので、こちょこちょやるよりは大規模改修、ただ、ここはちょっと難しいと思えますけどね。恐らくまた10億円を超える金額の、実際、本当にきちんと直すとしたらですね。ただ、幸いにも、体育館とかなんかはよっぽどい

いですし、ただ、空調と、あとは外観とか、あとプールはもう本当はかなり傷んでると思いますんで、これをどうするかっていうのは大変大きな課題だと思っております。

なお、長井マラソンに向けた整備については、当初ではちょっと組めなかったんですが、もし必要だったら、補正をお認めいただいて、10月の予定でございますんで、それに間に合うように何とかできないかなと思います。

○五十嵐智洋委員長　ここで暫時休憩いたします。再開は3時20分といたします。

午後 2時59分 休憩

午後 3時20分 再開

○五十嵐智洋委員長　休憩前に復し、会議を再開いたします。

それでは、総括質疑を続行いたします。

6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員　市長、答弁ありがとうございます。やはりあっちもこっちも公共施設の整備だらけで大変だと思いますけども、余り手がつけられない状態になる前にやはり計画していくべきだと思いますので、よろしくご検討していただきたいと思います。

次、4番目に入らせていただきます。

体育施設費の004生涯学習プラザ運動公園施設管理事業の緑地維持管理業務委託料に1,546万8,000円を計上なさってますが、今年の芝生広場の利用実績はどうだったのでしょうか。生涯スポーツ課長にお伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長　沼澤孝典生涯スポーツ課長。

○沼澤孝典生涯スポーツ課長　お答えいたします。

平成29年度、昨年であったわけですがけれども、比較的大きな大会の実施状況でございますけれども、1つには、県と東北の高校駅伝ございま

した。また、山形県に、県の予選でございますが、全国の高等学校のサッカー選手権の準決勝2試合なども行われております。また、山形県読売杯グラウンドゴルフ大会等々の比較的大きな大会が開催されております。また、通常時におきましては、グラウンドゴルフの練習であったり、高校、中学校、小学校のサッカーの練習などが行われております。

昨年の5月から11月まで、開設期間における利用人数でございますけれども、応援や観客の方の人数、金額は含まれておりませんが、利用人数につきましては9,401人、使用料は10万6,000円ほどの集計となっております。よろしくお祈いします。

○五十嵐智洋委員長　6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員　やはり公園ができたことによって、大会とか招致できて、すごくいいことだと思います。その芝生広場も、緑地維持管理業務委託の面積っていうか、減らすことはできないんでしょうかね。芝の手入れに随分お金がかかっているような気がしますけど、その辺はいかがでしょうか。スポーツ課長にお伺いいたします。

○五十嵐智洋委員長　沼澤孝典生涯スポーツ課長。

○沼澤孝典生涯スポーツ課長　お答えいたします。

緑地維持管理業務委託料1,546万8,000円でございますけれども、委託面積につきましては、陸上競技場のインフィールド、芝の部分、これが7,400平米ほどございます。また、芝生広場が7,100平米ほど、それに陸上競技場のバックスタンド、盛り土になっている部分ございますが、ここにある芝が770平米、そのほか芝生広場の周りの部分の緑地が2万570平米、合計いたしますと3.5ヘクタール、3万5,000平米ほどございます。

また、樹木につきましても、立ち木が177本、低木、植え込みでございますが、これが2,244本ございます。委託業務の内容といたしまして

は、芝の部分は刈り込み、肥料の散布、また、除草剤等の薬剤の散布、コアリング、目土、散水、あと、雑草等の処理については人力で行っております。また、樹木につきましても、まだ若いので、肥料を散布しなければなりませんし、また、病害虫の防除、あと枝の剪定、雪囲い、雨の降らない時期もございますので、かん水などを行ってる状況です。

また、芝、樹木共通でございますけれども、刈った芝、あるいは落とした枝の処分等々も入っております。業務の内容ですけれども、ほかの市町の公園管理に倣いまして、ごく一般的に行われてる内容について委託をしております。

面積を減らすことができないかというようなご提言ですけれども、管理している公園のエリアの一部について、全く手を加えないというふうなことになりますと、荒れた状態になりまして、そこを中心に美観が大きく損なわれるというふうな状況になりますので、面積を減らすというふうなことはなかなかできないのではないかとこのように思います。

なお、経費節減の方法といたしましては、29年度もそうだったのですけれども、芝刈り等を大きなイベントの時期に合わせて最大の効果が出るように行ったりというふうなことや、枝の剪定につきましても若干タイミングを延ばしまして、自然増、あるいは人件費も含めてですけれども、高騰分については、そこで吸収をしたというふうな状況でございます。

あと、今まだ木が若いですので、まめに手を加えないと形もしっかり整わないし、後から余計な枝の伐採の費用なんかも入ってきますので、比較的今の時期にしっかり手を加えたほうがいいというふうなことで、回数等々も多くなっておりますけれども、木の形がきちんとでききましたら、そちらの回数についても若干減ってくるのではないかとこのように思います。

また、面積につきましても、現在はほとんど

委託の中でやっておりますけれども、競技団体さんとか市民の方のボランティア等々にできましたらお願いしたいというふうな気持ちもございますので、そちらについても今後検討してまいりたいというふうに思います。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 ありがとうございます。

やはり植物も生きてるものですから、手をかけないっていうわけにはいかないっていうことがわかりました。それで、少しでも私は維持管理料が減ればいいかなと思って、質疑させていただいたんですけど、課長がおっしゃるように、ぜひきちんとした形でしていただいて、経費をどこかで、先ほどおっしゃられたように、削減しながら、このままやっていただければと思います。私も使用する団体の方にもボランティアはどうですかとお聞きしようと思ったんですが、課長のほうから答弁聞かれたので、ここは割愛させていただきます。

最後になりますけれども、市長にまた恐縮ですが、もう1点お伺いいたします。

3月7日に、国際ソプロチミスト様から陸上競技場のところにベンチ2台寄附していただきました。それで、競技場にはまだまだ必要なものがたくさんあると思うんですが、やはり先ほど課長がおっしゃったように、いろいろ大会がいっぱいございまして、グラウンドゴルフだったりすると、結構ご高齢の方がいらっしゃると思います。暑い日の対応などが必要だと思えますが、これからの陸上競技場の対応については市長はどのようにお考えになってますでしょうか。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 陸上競技場に日差しなど直射日光を遮るような対策を考える必要があるのではないかとこのことだと思いますが、鈴木委員おっしゃるように、特に夏なんかですと、応援される方は非常に暑い環境で大変だなということ

はおっしゃるとおりだと思っております。私どもの学習プラザの運動公園については第3種の陸上競技場の公認コースでございますけれども、3種ってというのは、1種、2種、3種の違いは、いわゆる観客席の広さによるものでございますが、私どものほうではホーム側は若干ひさしみたいなのはあるんですが、バックグラウンド側っていいですかね、あちらについては、ないと。ただ、これは県営陸上競技場ってNDソフトのスタジアムですけども、そこもホーム側ぐらいしかないんですね。あと、置賜ですと、米沢市の、あそこもないです。あとは、鶴岡市に大きい陸上競技場あるわけですけど、あそこもあります。基本的に本当に国立の競技場ぐらいいですと、あるんですけども、やはり私なんかも応援に行くときは、やっぱりそれを覚悟して考えておりますんで、これを、観客席ってというのは非常に、スタジアムみたいにしますと、大変なお金がかかるわけで、日差しってというのは基本的にはこれはそれぞれの応援する方が対策してくるってというのが現実のところだと思っております。

今後の対応としては、長井の運動公園につきましては、周りが緑地が結構、これから樹木が大きくなると大分過ごしやすくなるというのと、あと、周りが水源ですので、風通しがよくて、涼しくて、いいほうなのかなと思っておりますが、仮設で日差しよげができないとか、あるいは、ちょっとお金がかかっても、若干バックスタンド側ですね、バックスタンドじゃないな、そうですね、バックスタンド側のほうに少し日差しよげみたいなのも、なかなかお金がかかるので、難しいかとは思いますが、ちなみに、野球場のほうも大規模改修したわけですけども、あそこは座るベンチがないんですね。ですから、そのベンチの仮設をぜひということで協会のほうなんかからも声があるようですが、それなんかも考えなきゃいけないのかなと思っております。

して、一気にってというのは難しいんでしょうけども、少しずつその対応を考えていきたいなというふうに思います。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 ご丁寧な対応、ありがとうございます。やはりいろんな整備をしていく中でいろんな問題が出てきますけども、少しずつみんなで考えていきながら、ぜひ長井に来て、いろんな大会にいられて、あっ、ここはいいなっていうイメージをどこへでも伝わるような競技場にしていただきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いします。私からは以上で終わります。ありがとうございました。

### 今泉春江委員の総括質疑

○五十嵐智洋委員長 次に、順位4番、議席番号8番、今泉春江委員。

○8番 今泉春江委員 日本共産党の今泉春江でございます。通告しております2件について質疑いたします。それぞれ担当課長と、最後に市長のお考えを伺います。

まず、市税、国保税の差し押さえによる徴収の問題とその改善について伺います。

市民の皆様からお預かりする市民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税、たばこ税、入湯税などの市税は、長井市の自主財源として市政運営に重要なものです。現年度分の市税の収納率は、平成21年度、そして、23年度から27年度まで県内13市のトップでした。昨年は2位になっております。また、国民健康保険税の収納率も年々上がっており、こちらも現年度分の収納率は平成27年、28年において県内13市でトップとなりました。収納率を上げることに大きな努力が必要ですが、しかし、収納率を上げるために滞納者に容赦のない差し押さえが行われて